

捕鯨で栄えた牡鹿半島・鮎川のおもかげ

サンファン館・東北学院大学博物館

(鮎川の風景を思う会:資料提供)

連携展示



牡鹿半島・海のくらしの風景展
古写真と民具で
振り返る
捕鯨の町・鮎川



平成26年 10月11日(土)～
10月26日(日)

宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)

〒986-2135 宮城県石巻市渡波字大森30番地2

電話: 0225-24-2210 <http://www.santjuan.or.jp/>

東北学院大学連携展示

「牡鹿半島・ 海のくらしの風景」展

牡鹿半島の突端に位置する鮎川は、近代捕鯨の前線基地として明治初期から栄え、商業捕鯨禁止後も小型沿岸捕鯨を中心に捕鯨文化が育まれてきました。

今回の展示では、文化財レスキューされ保全作業が終わった旧鮎川収蔵庫の捕鯨用具、大震災前に地域で収集された古写真などを展示し、昭和初期から中期の鮎川の捕鯨と鯨まつりの風景をふりかえります。

とりわけ古写真は、「鮎川の風景を思う会」からの提供によるもので、現在東北学院大学の学生がその整理と内容の調査を始めているものです。今後も、地域で展示する機会を作っていこうと考えています。

みなさんの胸のうちに今も鮮明にある、くらしの風景を、こうした資料からよみがえらせていきましょう。

東北学院大学文学部准教授
加藤 幸治

時代を超えてよみがえる 底抜けに楽しいくらしの風景！



利用案内

- * 開館時間
午前9時30分～午後4時30分
- * 休館日
毎週火曜日
- * 入館料
本展は無料ゾーンで開催しています
(展示とドック棟の見学は別途入館料必要)

